

## 令和3年度の取り組み

## 令和4年度の取り組み方針(案)

意識啓発

地域支援

担い手育成

空き家活用支援

空き家除却支援

予防

管理

人材発掘

人材養成

売買

活用

賃貸

建替

除却

専門家による空き家の無料相談会の開催  
NPO法人所属の専門家による空き家の無料相談会を開催(毎月第1木曜日)

空き家対策ナビゲーター  
修了生の活動支援  
活動報告会 ナビゲーターが、毎月1~2回集まり、活動報告会を実施  
空き家調査 市内全域で空き家調査を実施  
地域セミナー 多田グリーンハイツで開催  
空き家調査システムの稼働と空き家実態調査  
・ベンチャー企業と連携して調査アプリ開発、10月から稼働開始  
・調査情報は、現場からシステムに直接送信し、データベース化する仕組み  
・空き家調査アプリを用いて、市内全域の空き家実態調査を実施

空き家マッチング制度  
・市場流通していない空き家を市民協働で掘り起こし、流通又は活用を促進(ナビゲーターに協力依頼)  
・専門家等の協力を得ながら、空き家と活用希望者とをマッチング(空き家流通対策会議を開催)

市は、空き家の所有者らに、制度案内リーフレット送付(登録促進)  
空き家活用支援事業  
(1)若年・子育て世帯型(工事費の1/2、上限100万円)  
若年・子育て世帯が自己居住用に空き家を取得しする場合に改修費を補助  
(2)地域交流拠点型(工事費の1/2、上限200万円)  
地域交流拠点として戸建ての空き家を活用する場合に改修費を補助  
(3)子育て世帯向け賃貸住宅供給支援型(工事費の1/2、上限100万円)  
ニュータウンの空き家を子育て世帯向け賃貸住宅とする場合に改修費を補助  
(4)事業所型(工事費の1/2、上限100万円)  
住宅を店舗として活用する場合に改修費を補助  
住宅金融支援機構及び池田泉州銀行との連携  
・市、住宅金融支援機構、池田泉州銀行で空き家対策の三者協定を締結  
(令和3年3月24日)  
・意見交換会(7月)、空き家対策リーフレット作成(10月~)



耐震建替工事費補助(定額100万円)  
耐震診断の結果、安全性が低い旧耐震基準の住宅の建替えに対して補助  
空き家除却等補助金(定額40万円)  
密集地や袋地等に建つなど、再建築困難な危険空き家の除却費用を補助

継続  
専門家による空き家の無料相談会の開催

新規  
川西市空家等対策計画の改定(令和4年度~5年度)  
・現行計画期間が令和4年度末で終了となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、上位計画の計画期間が1年延長されたため、本計画も同様に計画期間を1年延長する。  
・令和4年度は計画の検証や空き家の実態把握を行い、令和5年度中に改定空き家の流通促進補助金の創設(予算要求中)  
・空き家流通対策会議で、流通を促進するために必要となる費用について計上  
【例】 流通を促進するために必要な測量、登記、資料請求等

継続  
空き家対策ナビゲーター <修了生の活動支援>  
地域との連携  
空き家データを自治会と共有し、ナビゲーターと連携しながら地域の見守り・防犯活動で活用し、空き家データを適宜更新  
ナビゲーター活動報告会  
ナビゲーターが、毎月1~2回集まり、活動報告会を実施  
地域セミナー・気軽な相談会  
自治会と連携しながら、セミナー・相談会を企画・実施  
住民の意識啓発を行い、空き家の発生を抑制

空き家調査システム  
・令和3年度に開発したアプリを使って、空き家データを適宜更新  
・空き家データを蓄積・更新し、流通対策に活用(マッチング制度と連動)  
空き家マッチング制度  
・空き家実態調査等で掘り起こした空き家をもとに、市が所有者を調べ、ダイレクトメールを送信して、マッチング制度の活用を促進  
空き家活用支援事業  
・引き続き、空き家を自己居住用などに改修する際の改修費を補助  
住宅金融支援機構及び池田泉州銀行との連携  
・空き家対策の実施(具体化)  
【例】 金利優遇(空き家リフォームローン、リバースモーゲージ)、セミナー協力



継続  
耐震建替工事費補助(定額100万円)  
空き家除却等補助金(定額40万円)